

#### 4年間の目標と主な方策（令和6年度～令和9年度）

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きて働く「知識・技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指し、多様な学習活動において深い学びを実現していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が「見方・考え方」を自在に働かせられるような、教師の専門性の発揮と不断の授業改善を実施する。</li> <li>・KU（総合的な探究の時間）において、各教科で学んだ見方・考え方、身に付けた資質・能力を横断的・総合的に活用して、実社会や実生活における課題解決に向けて探究する。</li> </ul>
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会活動、部活動の充実をさらに図り、リーダーシップと協働し支える力を育む。</li> <li>・学校行事や生徒会活動において、生徒一人ひとりが高い目標を持ち、主体的に参画していけるよう支援を行う。</li> <li>・生徒一人ひとりに応じた支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や部活動に参画する経験が、生徒の主体性や創造性、社会性を高めることを意識させる。</li> <li>・様々な場面での活動を通して、生徒の主体的な活動を支援する。</li> <li>・生徒の状況を把握、共有し、必要な支援を組織的に行う。</li> </ul>
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高大接続を見据えて、総合的な探究の時間をはじめとした教育活動を展開し、生徒による将来の自己の在り方生き方の探求を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりに高い目標を意識させ、最も志望する進路が実現できるよう支援する。</li> <li>・生徒が将来の自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう、進路ガイダンスを充実させる。</li> </ul>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携を推進することで、生徒の社会性や協働する力を育む。</li> <li>・学校の魅力と特色を積極的に発信する。</li> <li>・横浜国立大学との連携の強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣学校との交流事業を推進する。</li> <li>・本校の受検を検討している中学生とその保護者に向け、ホームページを活用し、積極的な情報発信に取り組む。</li> <li>・横浜国立大学のリソースを活用し、大学との連携をさらに推進させる。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校がめざす姿を共有し、その実現に向けて協働して取り組む組織とする。</li> <li>・生徒が安心して通うことのできる体制を作る。</li> <li>・生徒と向き合う時間を確保するために、教員の働き方改革を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職を含め、職員同士が目的意識を共有し、日常的な情報交換・コミュニケーションを図る。</li> <li>・質の高い授業の実施、教育相談体制の充実、教育施設や防犯体制の拡充を図る。</li> <li>・ペーパーレス化を推進し、校務の効率化を図る。</li> </ul>